



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2009/06/30(火)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 53

第59回(平成21年度)北海道大学バスケットボール春季選手権大会(総評)

北海道大学バスケットボール連盟理事
道都大学バスケットボール部 監督
舟山 泰裕

平成21年度大学選手権大会が6月11日から14日まで南空知地区バスケットボール協会・夕張市・栗山町の後援をいただいて、ゆうぱり文化スポーツセンターを中心に開催された。

結果は、男子は札幌大学が危なげなく31回目の優勝を遂げた。女子は函館大学が決勝で札幌大学を75対73の僅差で破り、2連覇を成し遂げた。

男子の順位は札幌大学・北海学園大学・酪農学園大学・北海道大学となったが、準々決勝で北海学園大学を終盤までリードしていた東海大札幌、2回戦で札幌大学に僅差で破れた道都大学などは、4強と力の差がないように思われるが、春の時点では札幌大学が頭一つ抜きに出ている事は否めないところである。

女子は函館大学・札幌大学・北翔大学・教育大岩見沢校の4強とそれ以外の大学は昨年同様力の差があるものの、上位4校は実力差がなく秋には違った結果になる可能性が大きい。また4強に続くチームも実力が拮抗しておりお互いに切磋琢磨して上位校を脅かすチームになることを期待する。また男女とも将来指導者になる可能性が高い教育大学各校にはもっと頑張ってもらいたい。

今大会は春の段階で各チームが他チームの様子見という事があるにせよ、男女ともに個人技で点を取ろうとし過ぎているように思われる。特に、インサイドプレーヤーが自分の仕事の場を守らず、楽なプレーを選択し結果、バランスが崩れてしまうというケースが多々見られた。学生期は集団の中の個というものを学ぶ時期であり、その中で自分をいかに出すか、チームにどう貢献するかを考え行動することが大切であり、我がままに好き勝手にプレーすることが自分を表現することのように、勘違いしている者がいるように思われる。

学生の大会は毎年、会場でのマナー、ゲーム・マナーという点で苦評を受けているが、指導者のいないチームで楽しくとふざけるを履き違えている弱小チームがあるものの学生の努力でかなり改善されてきている。ただ指導者の少ない大学界で学生が頑張り技術の向上を目指している中、レベルにマッチしない判定が多々あり判定に対する抗議が「態度が悪い」と言われてしまう原因の一つになっているのも間違いないところだ。審判は現象を見て思い込みで判定するのではなく、その責任がどちらにあるのか、どのような影響を受けたかをしっかり見極める努力をしてもらいたい。

HBA(北海道バスケットボール協会)指導者育成専門委員会